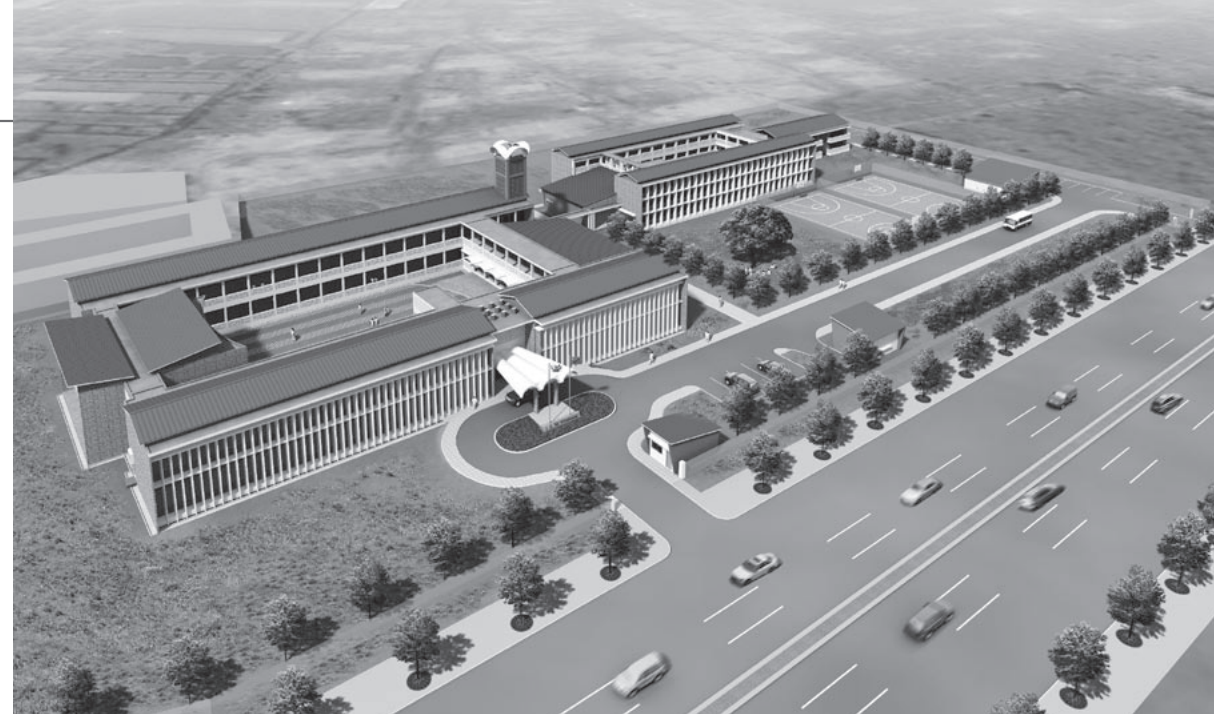
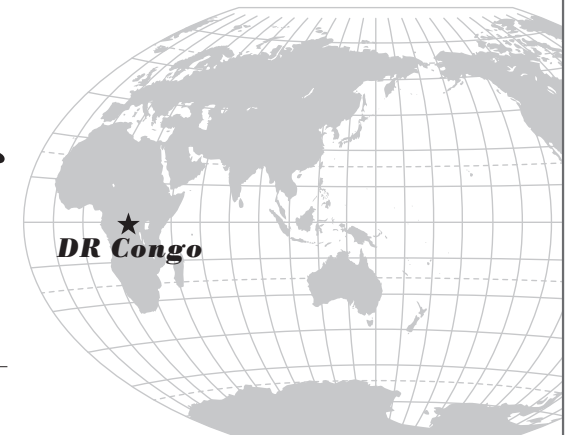


キンシャサ 保健人材センター 整備計画

戸田建設株式会社 キンシャサ保健人材センター整備計画 主任

浅川国康

Kuniyasu Asakawa



完成予想パース



職員・作業員集合写真



コンゴ民主共和国について

コンゴ民主共和国はアフリカ大陸中央部のコンゴ川流域に広がり、アルジェリアに次いでアフリカ大陸第二位の面積で、世界全体でも第一位の面積を有する広大な国家です。一九九七年に現在の国名に改められましたが、人によっては旧国名のザイールのほうが馴染み深いかもしれません。

コンゴ民主共和国内には約二四〇の言語が存在しますが、公用語はフランス語です。リンガラ語、スワヒリ語、コンゴ語、ルバ語の四つが国民語として認められています。首都キンシャサのある西部では公用語のフランス語以外ではリンガラ語が多く話されています。また、世界有数の資源国で、輸出の約九割を鉱産資源が占めます。銅、コバルト、ダイヤモンド、金、銀、亜鉛、ウラン、ボーキサイト、鉄鉱石、石炭などが産出されます。一九四五年に広島市に投下された原子爆弾の原料はベルギー領コンゴ国産でした。

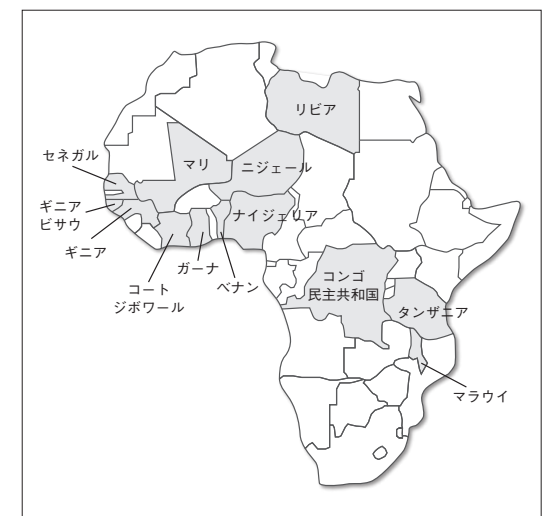
二〇一一年十二月に行われた大統領選挙後、我々のいる首都キンシャサの治安は安定しましたが、大使館・JICA（御国際協力機構）の指導で街中を歩くことが許されていないため、昼間でも移動はすべて車を使用しています。

プロジェクトの紹介

コンゴ民主共和国は一九九一年から一五年続いた内戦の影響で医療施設が劣悪な状況にあり、保健にかかわる人材も著しく不足しています。本プロジェクトは首都キンシャサに保健人材育成の中核となる保健人材センターの建設を日本の無償援助によって行うものです。

工事所見

本プロジェクトは首都キンシャサの中心部に位置し、近くには中国の援助で建設されたサッカースタジアムがあります。約四万三、〇〇〇



アフリカでの施工実績国



キンシャサ市内の街並み

平方メートルの敷地に学校施設（地上二階）、教職員宿舎（地上二階）、学生宿舎（地上三階）の鉄筋コンクリート造三棟を建設します。延床面積は合計約七、〇〇〇平方メートルとなっています。

コンゴ民主共和国では経験のある人材が不足しているため、弊社が長年ODA無償工事を施工させていただいている同じ仏語圏のセネガルから現地採用の技術者や技能工を派遣し、現地作業員の指導を行っています。

毎年十月から一月位が雨期となります。大通りは舗装されていますが、その他の道路はまだ舗装されていないため雨が降ると道路が水没し、公共バスが走らなくなります。朝、雨が降っていないくても夜中に雨が降ると公共バスは走りません。作業員のほとんどが公共バスを利用して、雨の時期は作業員の集まりが非常に悪くなります。現在、ようやく雨期も終わります。最盛期を迎えています。

おわりに

日本大使館、JICA、コンサルタントの方々の多大な支援を受けて工事も終盤にきました。当プロジェクトが完成後、コンゴ民主共和国の医療環境の改善に少しでも寄与し政府および地元住民に感謝されるよう、職員、協力会社、作業員一同、一丸となって工事を進めていきます。